

令和6年度青森県立保健大学同窓会総会 議事録

日 時 令和6年10月12日(土) 9:30～
場 所 C棟1階 認定演習室
出席者 副会長 金澤公太郎(オンライン)
事務総括理事 田中央佳
総務担当理事 伊藤耕嗣
監事 村上真須美、葛西孝幸
顧問 谷地博和
理学療法学科担当教員 石沢栞、羽場俊広
社会福祉学科担当教員 小山陽香
栄養学科担当教員 小貫勇司、葛西志保
大学院担当教員 橋本淳一
大学事務局キャリア開発・研究推進課 高谷憲、櫻田とき子
同窓会事務局員 小堤静恵

出席者合計 15名

冒頭、小堤事務局員から議長について立候補を募ったところ、自薦・他薦共になく、小堤事務局員から高谷大学事務局員への依頼があり、異議なく承認された。

1 報告事項

(1) 各分会事業報告、事務局報告(資料01)

各分会及び事務局から資料01により、令和5年10月1日から令和6年9月30日までに行った事業について報告があった。

2 協議事項

(1) 令和6年度決算について(資料02)

各分会の会計担当者及び事務局から、資料02により説明があり、村上監事からは、9月13日・20日に監査した結果、適正に経理されていた旨報告があった。このことについて審議した結果、異議なく原案どおり承認された。

(2) 会則、細則、経理規程の改正について(資料03)

小堤事務局員から資料03により、会則等の改正案について説明があり、以下のとおり決した。

ア 「幹事」の取扱いについて

会則第5条において、「幹事」は役員の役職の一つとして規定されているが、実態としては各分会で必要に応じて設けるに留まっていることから、これを削除する。

イ 会議名称の統一について

会則第9条において、会の会議は総会及び理事会と規定されているが、施行細則及び経理規程においては、「役員会」という呼称が登場しているため、これを「理事会」に統一する。

ウ 金庫の所在について

経理規程第6条において、会の通帳を管理する金庫の所在について、大学の事務所掌が変わり、現状にそぐわないため、これを修正する。このことについて、随時規程を改正する必要のないよう、課名ではなく「事務局」と表記してはどうかとの意見があり、これに異議なく意見のとおり承認された。

エ 事務局員の基本報酬額について

経理規程第8条に定める事務局員の基本報酬額について、最低賃金が引き上げられたことから、大学の「謝金等の標準単価」における業務補助者の単価960円とする提案がなされた。このことについて、随時規程を改正する必要のないよう、金額は明記せず「別に定める」と表記してはどうかとの意見があり、これに異議なく意見のとおり承認された。なお、基本報酬額を明記した資料を別途作成し、適時に参照できるよう準備することとした。

オ その他

その他軽微な修正について確認し、異議なく承認された。

(3) 同窓会財政の見直しについて (資料04)

小堤事務局員から資料04により、同窓会財政の見直しについて、見直しの経緯と提案について説明があり、以下のとおり決した。

ア 母校寄附積立金について

開学20周年事業として当会から400万円を寄附した頃とは、当会を取り巻く状況も変化し、積立金の捻出が困難になっている。このことから、年間積立金を20万円に減額する。なお、次回寄附額は、財政状況を鑑みて継続協議とする。

イ ホームカミングデーについて

令和4～5年度は、PRのため地元タレントを呼ぶなどし、各年70万円の予算を計上していたが、会の支出としては純増であり、労力も多大である。このことから、ホームカミングデーという体裁を活かしながら、予算を15万円に縮小し、従来実施してきた同窓会研修会を主軸に継続して実施することとする。

このほか以下の意見があり、次回開催に向けて継続協議とした。

- ・卒業生の日程確保のため、開催の周知や広報活動を早めに実施してはどうか。
- ・開催することで同窓会の存在や役割、活動内容について、知る機会となるような工夫を考えて実行していきたい。
- ・大学においては、ホームカミングデーがUIターン支援事業の一環と認識していることについて、どのように企画に反映させるか、効果的な方法を検討する。

ウ 新入生記念品について

経費を縮小する観点から、記念品はピンバッジのみでもよいのではないかと。新入生

へ渡す際に、活用の機会について明記したり、当会の企画など様々な機会を活用したりしてはどうか（大学祭において特典の受け取りに必要等）。このことについては、令和7年度新入生向け記念品配付に向けて継続協議とした。

(4) 新年度事業計画・予算案について（資料05）

各部会及び事務局から資料05により、新年度事業計画及び予算案について説明があり、異議なく原案どおり承認された。

なお、県外での研修会を予定している部会もあり、同窓会活動がコロナ禍以降ようやく積極的に取り組める状況となっていることが伺えた。

(5) 役員の改選について（資料06）

小堤事務局員から資料06により、新年度役員案について説明があり、異議なく原案どおり承認された。

3 その他

(1) 当会における年度の取扱いについて

小堤事務局員から標記について、一般的な年度表記と比べ当会では1年先の表記となっており、事務手続き等の整合性から、これを修正したい旨提案があった。このことについて、異議なく提案のとおり承認された。

※令和5年10月1日～令和6年9月30日 … 令和6年度

令和6年10月1日～令和7年9月30日 … 令和6年度（修正後）

(2) 新会長より

伊藤新会長から、各部会の活動報告のスキームを整えて、活動内容の見える化を目指したい旨発言があった。

(3) 卒業生・大学院修了生研修会助成事業について

大学事務局から、大学が実施する標記制度について、財政の負担軽減や同窓会活動活性化のため、積極的に利用してほしい旨アナウンスがあった。

議事録作成日 令和6年11月13日

議事録署名者

議長

伊藤 耕嗣

理事

石沢 梨